

第21課 強調與輕描淡寫：ぐらい／くらい・ など／なんか／なんて・まで／までして／ まで・として～ない・さえ・ても

第21課對應《新完全マスター N2》第1部「II 主観を含めて説明する（帶主観説明）」的第21課，主題是「強く言う・軽く言う」，也就是把一件事「往重裡說」或「往輕裡說」。本課收六個帶主観語感的句型：把程度往輕裡講、表「至少...」的～ぐらい／～くらい，表輕視、不屑的～など／～なんか／～なんて，表「甚至到...的地步」的～まで／～までして／～まで，全面否定的～として～ない，舉極端例的～さえ（兼「只要...就...」的～さえ...ば），以及「不惜...也要...」的～ても。

■ 今課目標

- 用～ぐらい／～くらい 表達「...的程度」或「至少...（最低限度的舉例）」。
- 用～など／～なんか／～なんて 表達「...之類」，帶輕視、不屑或意外的語氣。
- 用～まで／～までして／～まで 表達「甚至到...的地步（為達目的不惜...）」。
- 用～として～ない（一+助数詞） 表達「連...都不...」的全面否定。
- 用～さえ 表達「連...都」的極端例，並用～さえ...ば 表達「只要...就...」。
- 用～ても 表達「即使（不惜）...也要...」。

一、～ぐらい・～くらい：...的程度／至少...

■ 把程度往輕裡說

～ぐらい／～くらい 接在「說話人覺得程度很輕」的詞後面，表達兩層意思：一是「大概到...這個程度」，二是「至少...（這點小事）」，常用來舉一個最低限度的例子，暗示「連這點都...」。整句帶有「這不過是小事一樁」的主観語感。接名詞時多用「ぐらい」。

■ 形式規則

名詞／動詞・イ形容詞普通形（ナ形容詞だ→な）＋ ぐらい・くらい。接「說話人覺得程度輕」的詞；接名詞時多用「ぐらい」。

■ 例句

1. 自分の部屋くらい、自分で片づけなさい。
→ 至少自己的房間，要自己收拾。(最低限度的舉例)
2. そんなに難しくないから、子供でも分かるくらいだ。
→ 沒那麼難，大概到連小孩都懂的程度。(程度)
3. 少し話したくらいで、その人の本当の性格までは分からない。
→ 只是稍微聊過，是看不出那個人真正的性格的。(動詞普通形)
4. 忙しいのは分かるが、せめて電話くらいしてほしかった。
→ 我知道你很忙，但至少希望你打通電話。(最低限度的舉例)

二、～など・～なんか・～なんて：...之類（輕視）

■ 覺得沒價值、不放在眼裡

～など／～なんか／～なんて 接在「說話人覺得價值低、不重要」的詞後面，帶有輕視、不屑或意外的語氣。～なんか／～なんて 是更口語、隨便的講法。後句多接否定的表達，或接表示說話人意向、判斷（如「いやだ」「すごい」）的句子。～なんて 還常用來表達「居然...」這種意外、感嘆。

■ 形式規則

名詞（+助詞）+ など・なんか・なんて。接「說話人覺得價值低」的詞；～なんか／～なんて 較口語。後句多接否定，或表意向、判斷、意外的句子。

■ 例句

1. あの人に言われたことなど、気にする必要はない。
→ 那個人說的話之類的，根本不必放在心上。(後接否定)
2. 謝るなんて、あの人は絶対にしないだろう。
→ 道歉之類的事，那個人絕對不會做吧。(輕視+判斷)
3. あんなに練習したのに、一回戦で負けるなんて思わなかった。
→ 明明練習得那麼勤，居然第一場就輸了，真沒想到。(意外)
4. 残業ばかりの生活なんか、もううんざりだ。
→ 整天加班的生活之類的，我已經受夠了。(口語、不屑)

三、～まで・～までして・～てまで：甚至到...的地步

■ 連這種極端的手段都用上

～まで／～までして／～てまで 接在「舉出極端、出人意表的例子」的詞後面，表示「甚至連這種事／這種手段都做出來」。～までして／～てまで 多用來指出「為了達到目的而不惜採取的極端手段或局面」，整句常帶非難、疑問或驚訝的主觀語氣，暗示「有必要做到這個地步嗎」。名詞接 ～まで／～までして，動詞て形接 ～てまで。

■ 形式規則

名詞（+助詞）+ まで・までして／動詞て形 + まで。接「舉極端、意外例」的詞；～までして／～てまで 多含非難、疑問、驚訝的語氣。

■ 例句

1. いちばん賛成してくれていた母まで、わたしの留学に反対した。
→ 連我以為最會支持我的母親，都反對我去留學。(名詞)
2. カンニングまでしていい点を取って、いったい何の意味があるのか。
→ 甚至作弊去拿高分，到底有什麼意義呢。(名詞+までして／非難)
3. 借金をしてまで、ブランド品を買いたいとは思わない。
→ 我可不想為了買名牌，甚至到去借錢的地步。(動詞て形)
4. 家族を犠牲にしてまで、出世する価値があるのだろうか。
→ 甚至犧牲家人去往上爬，這真的有價值嗎。(動詞て形／疑問)

四、～として～ない：連一...都不...

■ 從最低單位開始全面否定

～として～ない 用在「一+助数詞」(如 一人・一度・一日・一つ) 後面，表示「連最低限度的一...都不...」，是一種強調的全面否定。前面常配「何」「だれ」等疑問詞(何一つ・だれ一人)來加強語氣。後句一定是否定文，意思是「完全沒有、一個也沒有」。語氣較書面、鄭重。

■ 形式規則

(何・だれ+) 一 + 助数詞(一人／一度／一日／一つ等) + として～ない。從最低單位「一...」起算；後句必為否定文，表全面否定。

■ 例句

1. 彼の意見に、だれ一人として反対する人はいなかった。
→ 對他的意見，沒有任何一個人反對。(だれ一人として～ない)
2. この三年間、彼女は一度として練習を休んだことがない。
→ 這三年來，她一次都沒缺席過練習。(一度として～ない)
3. 世の中に無駄な経験など、何一つとしてないはずだ。
→ 這世上應該沒有任何一段經驗是白費的。(何一つとして～ない)
4. その店の料理は、一品として口に合うものがなかった。
→ 那家店的菜，沒有一道合我口味。(一品として～ない)

五、～さえ：連...都／只要...就...

■ 極端例，與「只要...就」的條件

～さえ 有兩個用法。A「連...都」：接在「舉極端、出人意表的例子」的詞後面，暗示「連這個都這樣，其他的就更不用說了」(名詞+さえ)；後句不接表示說話人意向、要求的句子。B「只要...就...」：用「～さえ...ば／～さえ...なら／～さえ...たら」的形式，表示「只要滿足這一個條件，其他就都不成問題」，點出必要的最低限度條件。

■ 形式規則

A 連...都：名詞 (+助詞) + さえ (舉極端例；後句不接意向、要求)。B 只要...就：「～さえ...ば／～さえ...なら／～さえ...たら」，表必要的最低限度條件。

■ 例句

1. 日本に来たばかりのころは、ひらがなさえ読めなかった。
→ 剛來日本的時候，連平假名都不會讀。(A 連...都／極端例)
2. あまりに忙しくて、食事をする時間さえなかった。
→ 忙得連吃飯的時間都沒有。(A 連...都)
3. 天気さえよければ、明日のハイキングは予定どおり行きます。
→ 只要天氣好，明天的健行就照原定計劃進行。(B さえ...ば)
4. 体さえ丈夫なら、ほかに望むことは何もない。
→ 只要身體健康，其他就別無所求了。(B さえ...なら)

六、～ても：即使（不惜）...也要...

■ 不惜用極端手段也要達成

～ても 接在動詞て形後面，表示「就算要用上平常不會用的極端手段，也下定決心去做某事」。前面接表示極端手段的動詞，後句接說話人的希望、意向（如「～たい」「～なければならない」「～つもりだ」），整句帶有「無論如何都要做到」的強烈決心。

■ 形式規則

動詞て形 + ても。前接表示極端手段的動詞；後句接說話人的希望、意向（～たい／～なければならない等）。

■ 例句

1. どんな手段を使っても、来週までにこの仕事を終わらせなければならない。
→ 不管用什麼手段，也必須在下週前把這份工作做完。
2. 徹夜しても、明日の朝までにレポートを仕上げるつもりだ。
→ 就算熬夜，我也打算在明早之前把報告完成。
3. 多少高い金額を払っても、あのコンサートのチケットが欲しい。
→ 就算多付一點錢，我也想要那場演唱會的門票。
4. 嫌がる子供を無理に連れても、病院へ行かせるべきだ。
→ 就算硬把不情願的孩子拖去，也應該帶他去醫院。

七、常見錯誤與總整理

六個句型的分別

句型	核心意思	接續
～ぐらい／くらい	...的程度；至少...（最低限度的舉例）	名／動・イ形普通形（ナ形→な）
～など／なんか／なんて	...之類（輕視、不屑、意外）	名（+助詞）
～まで／までして／てまで	甚至到...的地步（非難、疑問、驚訝）	名（+助詞）+まで・までして／動て形+てまで
～として～ない	連...都不...（全面否定）	一+助数詞（一人・一度等）
～さえ	連...都（極端例）／只要...就（さえ...ば）	名（+助詞）

句型	核心意思	接續
～ても	即使（不惜）...也要...	動て形

■ 常見錯誤

- **×** 借金をするまで、ブランド品を買いたい。
○ **借金をしてまで、ブランド品を買いたいとは思わない。**
動詞要用「て形＋てまで」（借金をしてまで），不用辭書形＋まで；且此句型多帶非難、疑問語氣，後句常配否定（～とは思わない）。
- **×** 彼の意見に、だれ一人として反対した。
○ **彼の意見に、だれ一人として反対しなかった。**
～として～ない 是全面否定句型，後句一定要是否定文（反対しなかった），不能接肯定句。
- **×** 天気さえよければ、ハイキングに行きたいです。
○ **天気さえよければ、ハイキングに行きましょう。**
「連...都」的～さえ 後句不接意向、要求；要用「只要...就」時用～さえ...ば，後句接事實或邀約（行きましょう）較自然。
- **×** 徹夜しても、明日までにレポートを仕上げるつもりだ。
○ **徹夜しても、明日までにレポートを仕上げるつもりだ。**
表「不惜用極端手段也要做」要用～ても；單用～ても 是普通的逆接「就算...」，少了「不惜採取極端手段」的決心語感。
- **×** うちの息子は天才だなんて、本当に自慢の子だ。
○ **うちの息子が天才だなんて、思ったこともない。**
～なんて 帶輕視或意外語氣，後句多接否定或負面評價；要稱讚時不該用～なんて。

自己輸出：用 ぐらい／くらい・など／なんか／なんて・まで／までして／てまで・として～ない・さえ・ても 各寫一句。可寫一件「至少做到...」的小要求、一句「居然...」的意外，或一句「不惜...也要...」的決心。
